

評価担当者	課名	氏名	内線
	財務経営課	藤原 裕次	2100

コード	Ⅲ-8-16	施策名	公共施設の耐震化・防災施設整備
施策の方針	災害に強いまちをつくる		
まちづくりの方針	自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災)		
施策の目的	地震・津波・大雨・風水害・雪害等の自然災害から市民の生命を守るため、防災施設の整備が必要です。災害発生時に有効に活用可能な防災施設や災害対策拠点施設の整備及び公共施設の耐震化整備が重要となります。		
施策の内容	安全性が懸念されている市役所臼杵庁舎については早急に耐震補強を行い、災害発生時に避難場所になっている学校施設は安全性を確保する改修を行い、施設整備の促進や適切な維持管理を行います。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						H31目標 上段：当初 下段：現在
			単位	H26	H27	H28	H29	H30	
避難路の整備箇所	原材料支給による避難路の整備完了箇所	目標 実績 達成率	箇所		22	29	31	33	35
			22	26	30	34			
			%	-	118.2%	103.4%	109.7%		
備蓄倉庫の整備箇所	備蓄倉庫の整備完了箇所	目標 実績 達成率	箇所		14	19	23	27	30
			9	15	16	16			
			%	-	107.1%	84.2%	69.6%		
校舎及び屋内運動場、武道場の非構造部材の耐震化完了数	整備完了施設数	目標 実績 達成率	施設		20	20	27	34	41
			0	20	20	30			
			%	-	100.0%	100.0%	111.1%		
防火水槽の耐震化数	耐震化を実施した防火水槽数	目標 実績 達成率	基		34	36	41	46	50
			34	34	36	38			
			%	-	100.0%	100.0%	92.7%		
		目標 実績 達成率							
			%	-					
		目標 実績 達成率							
			%	-					

指標の分析

・備蓄倉庫の整備箇所については進捗がありませんが、災害時によりきめ細かに対応できるように地域にある公共施設等を活用し備蓄しています。・その他の指標については、概ね達成できていますので、引き続き自然災害に備えて計画的に整備を進めます。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果 (H29調査)	維持領域	2.63	1.70	2.05
市民意識調査結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに高く、「維持領域」に位置しており、取り組みの維持・継続が望まれています。</p> <p>・東日本大震災以降、地震・台風・豪雨など自然災害に対する市民の関心は高く、「必要度」「満足度」については、昨年と同様に高い状況である。</p>			

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題	避難所など災害時に必要となる設備を、優先順位を定め計画的に整備を進める必要があります。喫緊の課題でありました臼杵庁舎の耐震化については完了しましたが、抜本的対策について検討が必要です。また、耐震基準に満たない野津庁舎の旧館の対応も急がれます。
-------------	---

＜施策を構成する主な事務事業一覧表＞

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1	公共施設の更新・改修・解体	財務経営課		9,368	116,156	-	完了		
2	避難路・避難場所の整備	総務課 防災危機管理室		8,977	404	1,800	継続	○	
3	学校施設の非構造部材の耐震化	教育総務課		3,700	3,250	7,128	継続	○	
4	臼杵庁舎の耐震化	財務経営課		223,390	-	-	完了		
5	臼杵庁舎の抜本対策	財務経営課	○	-	3,405	10,804	重点化		
6	野津庁舎の耐震化	市民生活推進課	○	-	7,398	-	重点化	○	
7									
8									
9									
10									
合計				245,435	130,613	19,732			

＜施策の今後の展開 ～担当課長評価＞

進捗状況	臼杵庁舎の抜本対策は、本年度に市民の方々に参加を頂き「臼杵庁舎を考える市民会議」を開催しましたが、この市民会議にて提案された候補地などを参考に、臼杵庁舎の方針を早急に検討します。野津庁舎は、耐震基準に満たない旧館を解体し、新館に集約する方針で整備を進めます。	課長評価
概ね順調		最重点施策であり、来年度強化する

＜施策の今後の展開 ～内部評価（内部検討会）＞

進捗状況	臼杵庁舎の抜本対策は、本年度に市民の方々に参加を頂き「臼杵庁舎を考える市民会議」を開催しましたが、この市民会議にて提案された候補地などを参考に、臼杵庁舎の方針を早急に検討します。野津庁舎は、耐震基準に満たない旧館を解体し、新館に集約する方針で整備を進めます。	内部評価
概ね順調		最重点施策であり、来年度強化する

＜臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終＞

評価のコメント	外部評価
災害時を想定して、事前の準備、訓練をしていくことが重要。臼杵の場合は、津波を避けられないため、ハードでもソフトでも事前対策していく必要があり「強化」とする。	強化

＜臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組＞

最優先課題となっている臼杵庁舎の抜本対策については、方針に従い早期の完成を目指すと共に、防災対策の向上を目指しハード・ソフト両面から計画的な防災施設整備に取り組んでいきます。